

ヒートショック法を用いた鑄造床の適合性

2013/6/16

兵庫県技 田中怜

ヒートショック法を利用した歯科補綴物製作は作業時間の短縮および作業効率の向上が期待できる有意義な方法である。

しかし、リン酸塩系埋没材を用いた鑄造床製作の場合には、

- ① リングレス鑄型であること
- ② 耐火模型を内包していること
- ③ 鑄型の容量が大きいこと

など小型鑄造体製作と異なる部分がある。鑄造体の適合精度について耐火模型の加熱処理や市販の急速加熱専用液（スーパースピード）を使用した鑄造床製作法を紹介、解説したい。